

第1章 産業経済の振興

1-1 地域産業の活性化



担当課 商工振興課

主な関係課 新里地域振興整備課、黒保根地域振興整備課



基本方針

中小企業等の経営基盤の強化に向け、「ものづくりのまち桐生」が誇る優れた製品や技術を有する企業に対して必要な支援を行います。

| 目標指標 | 単位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|--------------------------------|----|-------------------|--------|-------------|--------|-------------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 「地域産業の活性化」の市民実感度 ^{※1} | % | 18.2 (2019年度) | — | 調査の都度 向上 | — | 調査の都度 向上 |
| 従業員1人当たりの製造品出荷額 | 万円 | 2,583 (2017年度) | 2,700 | 2,750 | 2,800 | 2,850 |



現況と課題

- ◆中小企業が抱えるさまざまな経営課題に対し、適切な助言とサポートを行い、競争力の向上や経営の安定化を図ることが求められています。
- ◆中小企業は優れた技術やノウハウを有していながら、特定の企業の受注に依存した体制や、経営者の高齢化などの課題を抱えていることから、経営基盤強化と競争力向上のため、新製品・新技術の開発や多様な販路の開拓を支援するとともに、創業と事業承継を促進し、産業集積の維持・発展を図る必要があります。

※1 「地域産業の活性化」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市のものづくり産業は元気で活力がある」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。



施策の方向

1. 中小企業の経営基盤強化

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|----------------------------------|-----|-----------------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 製造業の事業所数(従業者4人以上) 【延べ】 | 事業所 | 358 (2017年度) | 370 | 370 | 370 | 370 |
| 販路開拓支援による展示会等における 商談成約件数 | 件 | 114 | 140 | 140 | 140 | 140 |
| 創業支援等事業計画 ^{※2} に基づく創業者数 | 人 | 27 | 40 | 40 | 40 | 40 |

施 策

- 市内企業の成長支援 **重点施策(総合戦略)**
- 創業・事業承継の促進 **重点施策(総合戦略)**
- 公的融資の利便性の向上
- 中小企業の経営合理化の促進

2. 伝統産業の保護・育成

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|--|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 桐生テキスタイル プロモーションショー ^{※3} の入場者数 | 人 | 927 | 950 | 1,000 | 1,050 | 1,100 |
| 織物記念館織物資料展示室の来館者数 | 人 | 11,595 | 11,700 | 11,800 | 11,900 | 12,000 |

施 策

- 桐生ブランドの発信
- 商品開発・販路開拓の支援 **重点施策(総合戦略)**



主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020~2024年度)

※2 創業支援等事業計画…産業競争力強化法に基づき、地域における創業の促進を目的として、市が創業支援等事業者と連携して策定する計画。

※3 桐生テキスタイルプロモーションショー…繊維産地桐生の活性化を目的に、市内の繊維関連企業が参加し、顧客の拡大と安定化を図るため東京で開催する展示発表会。

1-2 企業立地の推進



担当課 商工振興課

主な関係課 都市計画課、新里地域振興整備課



基本方針

雇用の確保と経済環境の変化に対応できる産業構造・産業基盤の強化を図るため、多様な企業誘致と市内企業の流出防止を推進します。

| 目標指標 | 単位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|--------------------|----|-----------------|--------|-------------|--------|-------------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 「企業立地の推進」の市民実感度※1 | % | 4.7 (2019年度) | — | 調査の都度 向上 | — | 調査の都度 向上 |
| 桐生武井西工業団地の雇用者数【延べ】 | 人 | — | 225 | 250 | 275 | 300 |



現況と課題

- ◆本市には、事業拡張のために必要な工場用地が少なく、また、既存の工場の周辺に住宅地が開発されるなどしたことから、操業の制約となっています。
- ◆全国で企業誘致の競争が激化している中、工業団地の整備に当たっては、企業ニーズに適合した質の高い用地を選定することが重要であり、企業誘致の推進においては、地域への波及効果が期待できる優良企業を誘致する必要があります。

※1 「企業立地の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は企業誘致に取り組み、工場の建設などが進んでいる」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

施策の方向

1. 企業立地の推進

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|---------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 桐生武井西工業団地の立地企業数【延べ】 | 社 | — | 6 | 7 | 8 | 9 |

施 策

1. 計画的な工業団地の整備 重点施策(総合戦略)
2. 企業誘致活動の推進 重点施策(総合戦略)

主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）



桐生武井西工業団地

1-3 商業の活性化とにぎわいづくり



担当課 商工振興課、農業振興課

主な関係課 都市計画課



基本方針

市民ニーズの高い中心市街地等のにぎわいを創出するため、古くから市街地の経済活動を担うまちの顔である商店街をはじめとした商業の活性化を図ります。

| 目標指標 | 単位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|--------------------------------------|----|-----------------|--------|-------------|--------|-------------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 「商業の活性化とにぎわいづくり」の市民実感度 ^{※1} | % | 2.5 (2019年度) | — | 調査の都度 向上 | — | 調査の都度 向上 |



現況と課題

◆中心市街地の空洞化が進む中で、商業の活性化に向けて、経営者（後継者）の育成に加え、本市に多く存在する近代化遺産^{※2}を生かした産業観光や伝統産業・地場産業との連携、地域資源の活用など、総合的・一体的に取り組むことが課題となっています。

※1 「商業の活性化とにぎわいづくり」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市の中心市街地、商店街はにぎわっている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。
 ※2 近代化遺産…幕末から第2次世界大戦期までの間に、国の近代化に貢献した産業・交通・土木に係る建造物等。



施策の方向

1. 商業環境の整備

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|--------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 空き店舗対策制度を活用して開業した店舗数【延べ】 | 件 | 93 | 100 | 110 | 120 | 130 |

施 策

- 魅力ある商店づくり 重点施策(総合戦略)
- 生鮮食料品の流通拠点の確保

2. 市街地のにぎわいづくり

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 中心市街地の空き店舗率 | % | 19.0 | 18.8 | 18.6 | 18.4 | 18.2 |

施 策

- 中心市街地活性化の推進 重点施策(総合戦略)
- 活力ある商店街の再構築



主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）

1-4 雇用・労働環境の充実



担当課 商工振興課

主な関係課 地域づくり課、健康長寿課、福祉課



基本方針

若者、女性、高齢者、障がい者など働く意欲のある全ての人が能力を発揮し、多様な働き方が選択できるよう、働き方改革を推進するとともに、関係機関や事業所等と連携し、雇用の安定と労働環境の充実を図ります。

| 目標指標 | 単位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|----------------------------------|----|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 「雇用・労働環境の充実」の市民実感度 ^{※1} | % | 6.4 (2019年度) | — | 調査の都度 向上 | — | 調査の都度 向上 |
| 有効求人倍率 ^{※2} | 倍 | 1.24 | 1.00以上を 維持 | 1.00以上を 維持 | 1.00以上を 維持 | 1.00以上を 維持 |



現況と課題

- ◆新規学卒者が流出し、市内企業への就業や定着が進まない状況にあります。
- ◆事業所等の求める人材と求職者の希望のミスマッチにより人手不足感が顕在化しています。
- ◆性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、希望に応じた多様な働き方が選択できる環境が求められています。

※1 「雇用・労働環境の充実」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は働きやすい環境が整っている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。
 ※2 有効求人倍率…雇用動向を示す指標で、桐生公共職業安定所管内における有効求職者数に対する有効求人数の割合。



施策の方向

1. 雇用の確保と安定化

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-----------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 合同企業説明会に参加した学生数 | 人 | 36 | 40 | 45 | 50 | 55 |
| 労働セミナーの参加者数 | 人 | 80 | 85 | 85 | 85 | 85 |

施 策

1. 雇用の確保と安定化

重点施策(総合戦略)

2. 労働環境の向上

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|---|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 「くるみん ^{※3} 」または「えるぼし ^{※4} 」認定を取得した企業数【延べ】 | 事業所 | 5 | 6 | 6 | 7 | 7 |

施 策

1. 労働環境の向上



主な関連計画

◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020~2024年度)



労働セミナー「いきいき職場で元気な社会セミナー」

※3 くるみん…次世代育成支援対策推進法に基づき、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣から受ける認定(くるみん認定)。

※4 えるぼし…女性活躍推進法に基づき、女性の活躍を推進している企業として厚生労働大臣から受ける認定(えるぼし認定)。

1-5 農林業の活性化



担当課 農業振興課、林業振興課

主な関係課 新里地域振興整備課、黒保根地域振興整備課、農業委員会事務局



基本方針

農林業の活性化のため、本市の豊かな自然環境を生かした効率的・安定的な農林業の振興を図るとともに、地球温暖化の防止や水源のかん養^{※1}等多くの公益的機能を有する農村・森林資源の保全活動を推進します。

| 目標指標 | 単位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-------------------------------|-----|-----------------|--------|-------------|--------|-------------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 「農林業の活性化」の市民実感度 ^{※2} | % | 7.9 (2019年度) | — | 調査の都度 向上 | — | 調査の都度 向上 |
| 認定農業者 ^{※3} 数[延べ] | 経営体 | 117 | 119 | 120 | 121 | 122 |
| 林業従事者数[延べ] | 人 | 64 | 64 | 64 | 64 | 64 |



現況と課題

- ◆高齢化等により農業者人口が減少する中、大規模な農業を行う担い手の育成・確保が重要となっており、効率的で安定的な農業経営を行えるよう、意欲ある担い手への農地集積を行うとともに、認定農業者^{※3}の育成や法人化を推進する必要があります。
- ◆林業従事者や新規就業者の確保など雇用安定に向けた支援を行い、国や県、森林組合を中心とする林業関係団体との協同により、意欲ある林業経営に資するための事業を継続する必要があります。
- ◆農地・山林の維持・保全のため、有害鳥獣への対策や耕作放棄地の解消に取り組むとともに、農業用水施設等の維持管理を適切に行っていく必要があります。

※1 水源のかん養…市民の声アンケートの「桐生市の農林業は元気で活力がある」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 「農林業の活性化」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市の農林業は元気で活力がある」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※3 認定農業者…農業経営基盤強化促進法に基づき、自らの創意工夫によって経営の改善を進めようとする計画が、基準に適合するとし、国または県、市町村から認定を受けた農業者（個人・法人）。



施策の方向

1. 農業の活性化

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 農業法人数【延べ】 | 法人 | 47 | 48 | 49 | 50 | 50 |
| 担い手への農地集積率 | % | 18.2 | 19.0 | 19.5 | 20.0 | 20.5 |

施 策

1. 農業の担い手の育成・確保 重点施策(総合戦略)
2. 魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化 重点施策(総合戦略)
3. 農産物の安全確保と地産地消^{※4}の推進
4. 環境と調和した農業の推進
5. 農業施設整備・鳥獣被害防止対策の推進

2. 林業の活性化

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|------------------|----------------|----------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 桐生材の市場出荷量 | m ³ | 30,800 | 43,120 | 49,280 | 55,440 | 61,600 |
| 森林経営計画上の計画面積【延べ】 | ha | 6,463.79 | 6,980 | 7,239 | 7,498 | 7,756 |

施 策

1. 林業後継者の育成 重点施策(総合戦略)
2. 林業振興と林業生産基盤の整備 重点施策(総合戦略)
3. 林業関係団体との協同の推進
4. 森林保全・有害鳥獣対策の推進



主な関連計画

- ◇ 桐生市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（2016～2021年度）
- ◇ 第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）

※ 4 地産地消…地域で生産されたさまざまな生産物や資源（主に農林水産物）を、その地域で消費すること。

1-6 観光の振興



担当課 観光交流課

主な関係課 公園緑地課、新里地域振興整備課、黒保根地域振興整備課



基本方針

将来にわたり桐生に住んでみたいと思う新たな市民を生み出すとともに、交流人口や関係人口の増加による市内経済の活性化につなげるため、本市の自然、文化、歴史、産業等の多様な観光資源を活用した観光施策を推進します。

| 目標指標 | 単位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-----------------------------|----|-----------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 「観光の振興」の市民実感度 ^{※1} | % | 18.0 (2019年度) | — | 調査の都度 向上 | — | 調査の都度 向上 |
| 観光消費額 | 千円 | 4,849,234 (2017年度) | 4,994,711 | 5,094,605 | 5,196,497 | 5,300,426 |
| 観光入込客数 | 人 | 4,078,400 (2017年度) | 4,189,400 | 4,273,000 | 4,273,000 | 4,273,000 |



現況と課題

- ◆産業都市として発展してきた本市においては、観光客の視点に立った施設や土産品の整備が遅れていることから、観光客を迎え入れるための環境整備や接客サービスの向上と啓発を図ることが求められています。
- ◆本市の魅力を積極的に発信し観光産業として確立するために、行政主体の観光まちづくり体制から民間主体へ移行させる必要があります。また、ホームページや観光案内を充実するとともに、SNS^{※2}による情報拡散、情報発信機能を強化するため、情報収集機能を高める必要があります。
- ◆まつりなどのイベントを観光資源として充実し、観光客の誘致を推進する必要があります。

※1 「観光の振興」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は観光地として市外から人が訪れたい魅力のあるまちである」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 SNS…Social Networking Service（ソーシャル ネットワーキング サービス）の略で、人と人のつながりを促進・支援するコミュニティ型のWeb サイトやネットサービス。「フェイスブック」や「ツイッター」などがある。



施策の方向

1. 観光客誘致の推進

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-----------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 市民主体で行う観光イベントの共催・後援件数 | 件 | 10 | 20 | 25 | 30 | 30 |
| 観光ガイドの利用者数 | 人 | 2,961 | 3,100 | 3,200 | 3,300 | 3,400 |

施 策

- 観光客誘致活動の推進 重点施策(総合戦略)
- まつりなどのイベントの充実

2. 観光拠点施設の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|------------------------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 2018年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| 桐生観光協会ホームページへのアクセス件数 | 件 | 1,684,664 | 1,718,000 | 1,736,000 | 1,753,000 | 1,770,000 |
| 桐生観光協会フェイスブックへの「いいね」件数 | 件 | 20,709 | 21,000 | 22,000 | 23,000 | 24,000 |

施 策

- 観光拠点機能の充実 重点施策(総合戦略)
- 観光拠点施設の整備



主な関連計画

- ◇桐生市観光基本計画（2011～2020年度）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2024年度）



観光ガイド「織都桐生案内人の会」

